

# 米軍が撮影した豊川海軍工廠大空襲

昭和20(1945)年8月7日の豊川海軍工廠の空襲において米軍は、カメラマンをB29爆撃機に同乗させて空襲の様子を記録していました。雨のように降る500ポンド爆弾や、地上で着弾し炸裂した時の閃光、立ちのぼる爆煙など、攻撃側から見た空襲の様子が記録されています。写真の爆煙の下は、空襲体験者が語る言語に絶する惨状の場となっていました。

(この写真は、米軍が記録した映像を写真にしたものです)



① JAPAN STRIKEとは、日本攻撃、日本空襲という意味。1945年8月7日の日付がある。



② 空襲の標的が豊川であることが示される。



③ カメラマン搭乗機の左側を飛ぶ2機のB29爆撃機が写る。遠くにも10機ほどの機体が見える。



④ 前方に爆煙が見えることから、この時すでに豊川海軍工廠は空襲を受けていることが分かる。



⑤ B29爆撃機が、500ポンド爆弾を雨のように投下している様子。



⑥ カメラマン搭乗機の直下の様子で、投下した爆弾が着弾し炸裂している。着弾地点は、姫街道の金屋橋あたり。(丸で囲んだ箇所)



⑦ 爆煙の外側に、妙厳寺(豊川稲荷)境内や桜の馬場(現在の桜ヶ丘ミュージアム)、姫街道などが写る。



⑧ カメラマン搭乗機の右側を飛ぶB29爆撃機が、爆弾を雨のように投下している様子。遠くに白線のように見えるのは、表浜海岸(遠州灘海岸)。



⑨ 再びカメラマン搭乗機の直下の様子。爆煙の外側に見えるのは、現在の名鉄諏訪町駅附近。